

【22_308思考系メルマガ】『細部』を詰める検証が精度を高める

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

今日の話は、ある程度自分がトレードするための『型』が決まったんだけど

いま一つ結果が思わしくない(収支トントン。なんならちょっと負けてる)という人に向けたお話になります。

また、もう少しレベルアップして、「もっと今の型で利回りを良くしたいなあ」という人にも今回のテーマは是非読んでほしいと思います。

□
■ 『型』の骨格が定まった。次は『細部』だ

▼元ツイート▼

https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1585790960276938752?s=20&t=bTL9zh2J3FCLd1wgBu_Mgg

これは、今まさに僕も乗り越える壁として意識しながら取り組んでいることになるのですが

僕は現在、MAを軸としたセットアップでのエントリー方法を

大きく分けて『2つ』運用しています。(サロン、講座の皆さんには説明済み)

ですが、フォワードテストをやり始めた人は最初実感したと思うのですが

意識したMAに価格が到達しても、そこから「どうエントリーするか」という段階で

迷わず決断できた人はあまりいないと思います。

そう、そこが『細部』なのです。

自分が、どんな一貫性をもって『エントリーの引き金を引くか』を規定し、その結果をよし悪し関わらず受け入れる。

ここまでできて、初めてその型は実戦で使える『完成型』となるわけです。

そこで、『細部を詰める』という

新たなテクニックを付け足すというイメージを持つ人もいるかもしれませんが

それをやると、間違いなく迷宮入りします(笑)

足すのではなく、逆に『無駄を削ぐ』のです。

宝石も、磨き・カットをする事によって輝くように、表面にくっついている無駄な要素

(僕がTwitterでも書いた、トレードでいえば“迷う要素”)を見つけ、それを省いていく。

実際、自分の型のどこにどんな『削ぐべき要素』があるかは、実際にフォワードテストを行ってみないと分かりません。

これは、コミュニティ(NexT+)の勉強会でも先週くらいに話をした事なのですが

フォワードテストは自分が認識できる『型』に沿ってトレードした時に

「どんな負け方をする傾向があるか」を知るのが重要な目的のひとつです。

その負けは、何か「注意すべき、避けるべき要素」を持っていれば避けられた負けなのか？

それとも、『型』に従う以上受け入れるべきものなのか は、やり始めた段階ではわかりません。

これは、時間をかけて勝ち負けの結果を積み重ねた結果として、『いつも同じような理由で負けている』という認識が得られるなど

いわゆる『負けの傾向』が見えてくることによって、それをやらないようにする修正ルールを作る

といった対処をする事で初めて成立します。

このように、時間をかけて『負けを極力減らす選球眼』を身につけ

無駄な損切りエントリーを減らす(余計な判断材料はなるべく増やさない)という作業を繰り返すことで

次第に最初に作った『型』が洗練され、最終的に精度の高いルールに近づいて行きます。

この細部を詰める作業をやるためにも、今まだ『型』が定まっていない人は

自分のトレードの軸を決める意味でも、取り組むべきひとつの原型を早く決めるようにしていきましょう。

11月になり、今年も残すところあと2カ月です。

ですが、逆に考えれば、この2カ月をどれだけ有意義に過ごせるかによって

気持ちよく2023年を迎えられるかが変わってくると思います。

お互い、悔いが残らないように日々を丁寧に生きて行きたいですね。